

平成27年度事務事業評価シート						取組みコード	41329
区分	事務事業		担当課	教育総務課	作成日	平成27年5月11日	
事業名	キャリア教育推進事業費		開始年度	平成18年度	予算科目	9.1.4.3.1	

1 事業の概要

総合計画での位置づけ			
部	第4部 豊かな人間性を育む文化のまちづくり	章	第1章 生涯を通じて学ぶ体制づくり
節	第3節 小中学校教育の充実	基本施策	2 生きる力を育む教育の充実
取組みの基本方向 (9)中学生の職場体験活動を推進します。			
根拠法令等	教育基本法、学習指導要領		
目 的 (誰・何を対象に、何のために)	町立中学校2年生の生徒の進路選択のきっかけをつくり、生きる力を育成する。		
内容・方法 (何を行っているのか)	町立中学校在籍生徒のキャリア教育の一環として、町立の3中学校が同時期に職場体験事業を実施する。		

2 指標(事業の成果・活動内容等を数字で表します)

本事業が属する総合計画の節の成果指標		指標名		平成21年度	平成28年度			
		学校生活を楽しんでいる小学校5年生の割合		74.3% (平成20年度)	85%			
		学校生活を楽しんでいる中学校2年生の割合		52.7% (平成20年度)	65%			
(A)総合計画の節の目標を達成するため本事業に求められる成果				生徒が自分の将来について考える				
(A)の成果をあげられているか測るための指標(成果指標)	増減	指標の説明		項目	基準年度 (平成24年度)	平成25年度	平成26年度	平成27年度
生徒アンケート「自分の将来について考えることができましたか?」の肯定的回答の数値。	増	職場体験後の生徒アンケートの項目から		計画値		85.3	85.6	86.0
				実績値	85.0	87.7	87.6	
				達成度※自動計算		102.8	102.3	0.0
(B)成果指標の目標を達成するため本事業において町が行う活動				多様な体験先の確保				
(B)の活動状況を測るための指標(活動指標)	増減	指標の説明		項目		平成25年度	平成26年度	平成27年度
職場体験登録事業所数	増	本事業に参加する登録事業所の数		計画値		120.0	125.0	130.0
				実績値		132.0	122.0	
				達成度※自動計算		110.0	97.6	0.0

※ 増減欄は、指標の値について、増加が望ましい場合に「増」、減少が望ましい場合に「減」を記入する。

3 事業費の推移と財源内訳

3 事業費の推移と財源内訳				(E) 平均人件費(円/年)	8,300,000	
年 度			基準年度(決算) (平成24年度)	平成25年度(決算)	平成26年度(決算見込)	平成27年度(予算)
(A) 事業費(円)			213,180	219,200	210,190	207,000
(B) 概算職員数(人)			0.200	0.200	0.200	0.200
(C) = (B) × (E) 人件費(円) ※自動計算			1,660,000	1,660,000	1,660,000	1,660,000
(D) = (A) + (C) 総事業費(円) ※自動計算			1,873,180	1,879,200	1,870,190	1,867,000
単位当たりコスト※自動計算			22,037.4	21,427.6	21,349.2	
財源内訳 (円)	特定財源	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他				
	一般財源※自動計算		1,873,180	1,879,200	1,870,190	1,867,000

4 事業の項目別評価(分析)

項 目	判定基準	判定 ※一部自動判定	評価 ※自動判定
妥当性 (公費を投入して実施することが妥当な事業か)	法令等で義務付けられた事業である		A
	民間サービスで同様の事業は実施されていない、市場原理に委ねることができない	○	
	国や県において同類種の事業が実施されていない	○	
	事業開始時から事業目的や町民のニーズの変化がない	○	
	事業・サービスの提供時間帯及び場所は公平に提供されている	○	
	受益に応じた負担は適正である	○	
	事業の実施による効果が不特定多数の人に広く及ぶ性質である	○	
	町民の日常生活に必要不可欠な事業である		
上記のいずれにも当てはまらない			
有効性 (基準年と比較して成果が上がっているか)	成果指標について平成26年度の目標を達成している	○	A
	基準年度と比較して成果が向上している	○	
効率性 (なるべく費用をかけずに成果を上げているか)	基準年度と比較して費用の縮減ができている (費用の縮減率が成果の向上率以上か)	費用減、成果アップ	A
有用性 (施策の成果指標の目標達成に貢献しているか)	総合計画の節の目標達成のための本事業の効果	間接的	B
	総合計画の節内での本事業の優先順位	高い	
総合評価 ※自動判定		良好に実施できている	

5 特記事項

6 自己評価(担当課)

評価結果	☒ 現状維持	☐ 拡 充	☐ 改 善	☐ 縮 小	☐ 再 構 築	☐ 廃 止
理由	事業は、高い評価で実施できており、今後も生徒の進路選択の一助となることから継続して実施していく。					
今後の方向性	実施時期については、平成27年度中に再度見直しを進め、より効果的な時期としたい。					

7 1次評価(庁内行政評価委員会)

評価結果	☒ 現状維持	☐ 拡充	☐ 改善	☐ 縮小	☐ 再構築	☐ 廃止
今後の方向性に係る意見等	所管課の方向性のとおり					

8 2次評価(外部評価:行政改革推進委員会)

評価結果	☒ 現状維持	☐ 拡充	☐ 改善	☐ 縮小	☐ 再構築	☐ 廃止
今後の方向性に係る意見等	本事業は生徒に貴重な社会体験の機会を提供するとともに、保護者や事業所にも良い影響を及ぼす意義のある事業であり、実施時期を適切に見直すことなどにより、引き続き効果的に実施してほしい。					

9 2次評価(実施のない場合は1次評価)を踏まえた対応案(担当課)

現状のまま引き続き事業を実施する。

10 町の最終方針(行政改革推進本部会議)

評価結果	☒ 現状維持	☐ 拡 充	☐ 改 善	☐ 縮 小	☐ 再 構 築	☐ 廃 止
理由・改善方針	適切な実施時期について引き続き検討しながら事業を継続する。					